Ａｐｅ１００　ＰＤ２２　キャブレターキット　取扱説明書

商品番号	：０３－０５－３２２（キャブレターキット）
	：０３－０２－０４６（マニホールドセット）
	：０３－０５－３２３（エアフィルター付）
適応車種	：Ａｐｅ１００
フレーム番号	：ＨＣ０７－１０００００１～

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎エンジン内部に水分が入り込んだ場合、エンジン不調の原因となりますので雨天中の走行は出来るだけ避けて下さい。又、洗浄時などはキャブレターに水がかからないようビニールなどで覆って下さい。
◎弊社エアフィルターを使用する場合、マットガード（０９－０９－１８０５）を同時装着して下さい。
◎ノーマルのスロットルケーブルは使用出来ませんので、必ず付属のスロットルケーブルに交換して下さい。
◎キャブレターは、使用部品や自然現象などによりセッティングは変化します。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

○規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。（ボルト、タップ部のの破損および脱落の原因となります。）
○作業は、必ずエンジンおよびマフラーの冷間時（３５℃以下）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
○作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

○技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により転倒、事故につながる恐れがあります。）
○走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み、ガソリンの漏れ等がないかを確認して下さい。又、走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ異常箇所の点検を行って下さい。（そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。）
○エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンをかけないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
○取り付け作業は、車両を安定させた状態で行って下さい。（車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
○ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～

番号	商品内容	数量
1	インレットパイプ	1
2	インシュレーター	1
3	キャブレターガスケット	1
4	インレットパイプガスケット	1
5	スロットルケーブル	1
6	ナット　M6	2
7	ソケットキャップスクリュー　M6×25	2
# 8	キャブレターASSY	1
# 9	コネクティングチューブ	1
# 10	バンド	2
# 11	メインジェット　#110	1
# 12	メインジェット　#105	1
＊13	エアーフィルター	1
＊14	エアフィルターステー	1
＊15	フランジボルト　6×16	1
＊16	フランジUナット　M6	1
# 17	フューエルチューブ　200mm	1
# 18	チューブクリップ	1

※（03－05－322）には＊印付の部品は含まれません。
※（03－02－046）には＊印付の部品及び＃印付の部品は含まれません。但し、10番バンドが1個含まれます。

出荷時キャブレター状態

メインジェット	#95
パイロットジェット	#35
ジェットニードル	E2051G
クリップポジション	4段目
スロットルバルブ	74B
エアースクリューオープニング	1－1／4

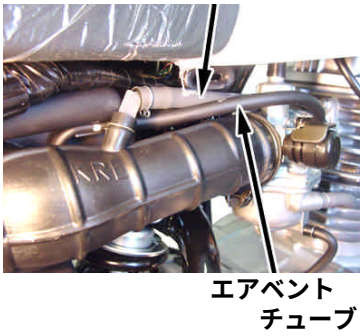
～取　り　付　け　要　領～

1．2本のボルトを取り外し，シートを後方に引いて外します。

2．右サイドカバーのボルトを取り外し、ボス2ヶ所をフレームから外し、右サイドカバーを外します。

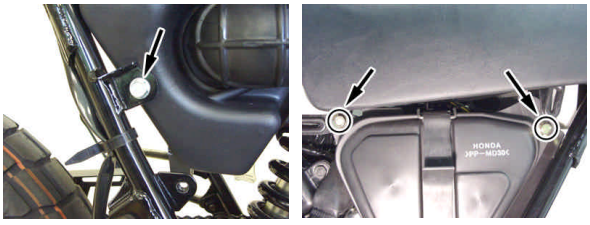
3．左サイドカバーのボス3ヶ所をフレームから外し、左サイドカバーを外します。

4．ストレージタンクホースとキャブレターエアーベントチューブをエアークリーナケース側から外します。
※ストレージタンクホースはブリーザーチューブジョイントごと外して下さい。



5．コネクティングチューブバンドスクリューを緩めます。

6．ノーマルエアークリーナーケースを止めているケースマウントボルトを左側から2本、右側から1本を取り外します。
※ノーマルエアークリーナーケースを使用する場合は取り外しません。



7．コネクティングチューブをキャブレターから外し、エアークリーナケースを取り外します。
※ノーマルエアークリーナーを使用する場合はエアークリーナーケースは取り外しません。

８．（ノーマルエアークリーナーケース使用時）
ノーマルエアークリーナーカバーを取り、中のエアーフィルターを取り外します。ノーマルエアークリーナーケースからコネクティングチューブを外します。付属のコネクティングチューブに接着剤を塗布し、ノーマルと同様にエアークリーナーケースに取り付けます。

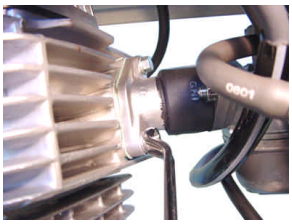
（専用エアーフィルター使用時）
コネクティングチューブに接着剤を塗布し、エアーフィルターとステーの穴位置を合わせ、コネクティングチューブを取り付けます。

※接着面は汚れ、油脂分を取り除き、十分乾燥させた後、ホンダボンドＡまたは相当品を薄く塗布し、接着面が乾かないうちにエアーフィルターを取り付けます。
※接着剤に添付されている仕様説明書に従って使用して下さい。
※エアーフィルター取り付け後、接着剤が固まるまで最低２時間は放置して下さい。

９．フューエルコックを閉じます。キャブレターのドレンコックを開きフロートチャンバーからガソリンを受け皿に抜き取ります。

１０．フューエルチューブをキャブレターから外します。キャブレタートップを外し、スロットルバルブをキャブレターから取り外します。スロットルバルブとスロットルケーブルを分離し、トップカバーを抜き取ります。

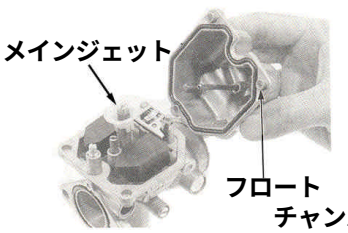
１１．インレットパイプ固定ボルトを取り外しインレットパイプを取り外します。
※インテークポート内に異物等が入らないよう注意して下さい。



１２．スロットルハウジングのパンスクリューを外します。スロットルパイプ、スロットルハウジングからスロットルケーブルを外します。ノーマルのスロットルケーブルを車両から抜き取ります。スロットルパイプの汚れや古いグリス等を拭き取り、躍動面に新しいグリスを塗布します。スロットルパイプをハンドルに取り付けます。

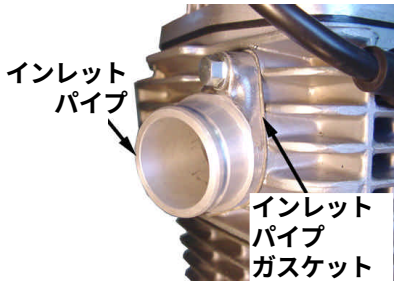
１３．付属のスロットルケーブルをロアスロットルハウジング及び、スロットルパイプに取り付けます。アッパースロットルハウジングを取り付け、パンスクリューで締め付けます。前側のパンスクリューから先に締め付け、次に後側を締め付けます。スロットルケーブルをノーマルと同じになる様に取り回します。
規定トルク=4N･m（0.4kgf･m）
※ノーマルハンドルの場合、スロットルハウジングの分割部をハンドルのポンチマークに合わせて下さい。

１４．ＰＤ２２キャブレターのフロートチャンバーを外し、メインジェットを付属のメインジェットに取り替えます。（Ｓ－ＳＴＡＧＥは＃１１０、ＳＴＤエンジンは＃１０５を目安にして下さい。）

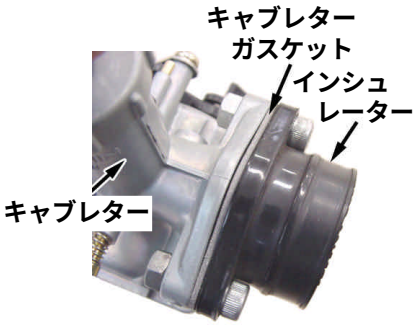


１５．フロートチャンバーを元通りに取り付けます。

１６．シリンダーヘッドとインレットパイプの間にインレットパイプガスケット(厚みが薄い方)をいれてインレットパイプをＳＴＤフランジボルト２本で締め付けます。
規定トルク=12N･m（1.2kgf･m）

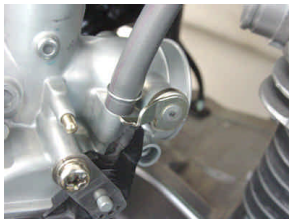


１７．キャブレターとインシュレーターＣＯＭＰ．の間にキャブレターガスケット(厚みが厚い方)を挟み、ソケットキャップスクリュー(Ｍ６×２５)２本とナット(Ｍ６)で締め付けます。
規定トルク=12N･m（1.2kgf･m）

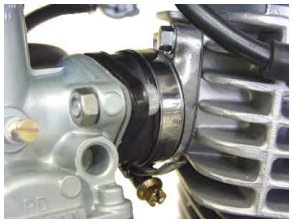


１８．ＰＤ２２キャブレターのトップカバーを外して、スプリング、スロットルバルブを抜き取ります。スロットルケーブルにトップカバーを取り付け、スプリングを入れてスロットルバルブをインナーケーブルに取り付けます。スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付けます。

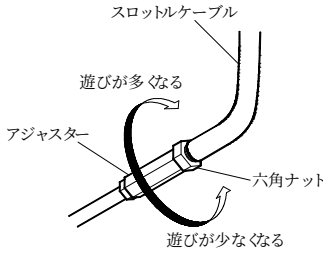
１９．付属のフューエルチューブをキャブレターに差し込み、チューブクリップを取り付けます。

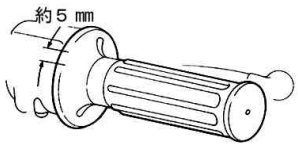


２０．インシュレーターＣＯＭＰ．をインレットパイプに差し込み、バンドで締め付けます。



２１．スロットルグリップ部で５㎜程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。スロットルを数回スナップさせ引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。又、ハンドルを左右にきってもスロットルケーブルの引っ掛かりが無いかを確認します。





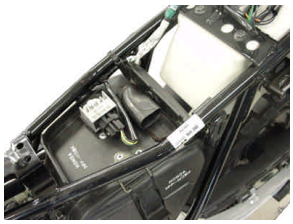
２２．エアークリーナーコネクティングチューブをキャブレターに取り付けます。エアクリーナーコネクティングチューブバンドを締め付けます。

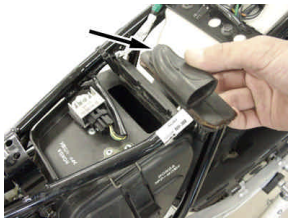
２３．（ノーマルエアークリーナーケース使用時）ノーマルエアクリーナーを元通りに取り付け、エアークリーナーカバーを付けます。

（専用エアーフィルター使用時）
フランジボルト（Ｍ６×１６）、フランジＵナットでエアーフィルターステーをフレームＲ．側のエアークリーナケース取り付け穴に固定します。
トルク：12 N･m(1.2 ｋｇｆ･m)

２４．コネクティングチューブにストレージタンクホースを取り付け、チューブクリップを取り付けます。

２５．左右サイドカバー、シートを取り付けます。
※ノーマルエアークリーナー使用の場合は、吸入空気量を確保する為にシートを取り付ける前にエアークリーナーケース上部のインテークダクトを必ず取り外して下さい。





２６．チョークレバーを引きエンジンを始動させます。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。エンジン暖気後アイドリングしない場合や、アイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

２７．安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７ FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp

キャブレターセッティング要領

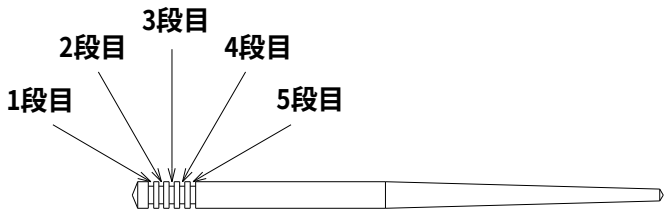
・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの２つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。（黒い） ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。（息付きをおこす） ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル （スロットル開度１／４－３／４）

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか
・息付きをする場合、濃くして下さい。
・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。
この開度での混合比は、Ｅリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Ｅリング位置が１段目から５段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット （スロットル開度３／４－４／４）

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット （調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。）

・エアスクリューの戻し量３.０回転以上の場合は、パイロットジェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。（アイドル回転時）
・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。（アイドル回転時）
・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。（アイドリング時）
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（１.５回転）に合わせ、左右に１／４－１／２回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９　URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７